

1. 第10回検討会の課題への対応

■ 1-1 第10回検討会の課題への対応



第10回検討会の課題とその対応を示す。

課題	対応
<p>課題① 潮下帯定量調査で確認された底生動物の出現状況のさらなる分析を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地点における底生動物の出現状況について、工事前後の種の内入れ替わりの状況を評価を実施。現時点では、 第1期（前H27.10→後H28.6） 第2期（前H28.11→後H29.6） 第3期（前H29.10→後H30.6） の工事前後の評価を行った。 さらに、第10回検討会の意見をを受けてハビタット区分別の工事前後の評価を行った。 <p>⇒詳細は、底生生物・底質調査結果の報告時に説明</p>
<p>課題② シギ・チドリ類の個体数の変動について、より詳細な報告を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> シギ・チドリ類の個体数の変動について、これまでの報告よりも詳細な報告を行うこととした。 <p>⇒詳細は、鳥類調査結果の報告時に説明</p>
<p>課題③ 河口干潟の聖域性の低下（干潟と右岸の接続）によるシギ・チドリ類の出現場所の変化について、河口干潟の植生と猛禽類の出現状況を踏まえて仮説の再確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第10回検討会に提示した「聖域性の低下」に関する補足として、河口干潟の植生と猛禽類の出現状況について整理した。 <p>⇒詳細は、鳥類調査結果の報告時に説明</p>